

Title	常盤政治教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Seiji Tokiwa
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1993
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.85, No.4 (1993. 1) ,p.743(215)- 749(221)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19930101-0215

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

常盤政治教授略歴・著作目録

略歴

- 1950年 慶應義塾大学経済学部卒業（旧制）
副手，助手を経て
- 1959年 同大学経済学部助教授に就任
- 1966年 経済学博士の学位取得
- 1967年 慶應義塾大学経済学部教授に就任
- 1968年 同大学大学院経済学研究科委員
- 1980年～1982年 西ドイツ，フライブルク大学「Institut für Entwicklungspolitik」に留学
- 1980年 慶應義塾賞受賞

塾外職歴

- 佐賀大学経済学部非常勤講師（1972.10～73.3；1974.10～75.3）
- 東京農工大学農学部非常勤講師（1973.4～73.10）
- 九州大学農学部非常勤講師（1975.4～76.3）
- 二松学舎大学国際政治経済学部非常勤講師（1992.4～93.3）

塾内役職

経済学会委員，『三田学会雑誌』編集委員，経済学部入試事務補佐，学生部副部長，慶應義塾長期研究教育計画委員会委員，経済学部図書委員，経商資料室委員，大学院経済学研究科入試事務補佐，経済学部学習指導主任，経済学部カリキュラム委員・人事委員，研究室運営委員，弁論部部長，慶應義塾学事振興助成審議委員，通信教育部学習指導主任，経済学部選挙管理委員長，経済学会監事，経済学会会長等を歴任。

塾外委員・役員等

- 土地制度史学会事務局幹事（1959.11～71.10）
- 総理府農地被買収者問題調査会専門委員（1960.12～62.6）
- 農林省農地制度研究会委員【農地管理事業団構想等の検討】（1964～65）
- 土地制度史学会理事（1971.11～90.10）
- 『農村と都市をむすぶ』誌（編集代表近藤康男）編集委員（1974.10～）
- 農業問題研究会議委員（1976～1990）
- 米価（昭和45年度）行政訴訟（昭和45年8月1日付全日農提訴）に関する公判における鑑定人（1976～1977）
- 食糧問題国民会議代表委員（1984.12～88.4）
- 農業・農民協会委員（1985年度）
- 農業・農民協会常任委員（1986～）
- 『農業・農民』（1989年以降『農業・食糧』と改題）編集委員（1986～）
- 食糧問題国民会議運営委員長（1988.5～）
- 第21回国際農業経済学会組織委員会委員（1989.10～92.9）
- 土地制度史学会監事（1990.11～93.10）
- 中央協同組合学園学校法人化〔協同大学（仮称）設置〕検討委員会委員（1991.5～92.5）
- シャドウ・キャビネット・アドバイザー（1992.4～）

研究業績

著書

- 『農業恐慌の研究』日本評論社 1966年
『農産物価格政策』家の光協会 1978年
『現代資本主義分析の基礎理論』日本評論社 1979年
『日本農業の理論と政策』（共編著）ミネルヴァ書房 1980年
『経済原論』（共著）有斐閣 1980年
『日本農業論』（共編著）有斐閣 1986年
『現代日本農業論』（共編著）ミネルヴァ書房 1986年
『日本経済と農業問題』（共編著）ミネルヴァ書房 1991年
『日本農業論』（共編著，改訂版）有斐閣 1993年

主要論文等

- 1950年 「価値論の一齣——「虚偽の社会的価値」と相対的剰余価値——」慶應義塾大学経済学部『理財学会誌』第10号（復刊第3号）
- 1952年 「「小農論」批判の一視点」『三田学会雑誌』第45巻第11号
- 1953年 「林業地代論の一考察」『三田学会雑誌』第46巻第3号
「S県S郡K町漁業実態調査報告——漁業経済の一研究——」（共同）『三田学会雑誌』第46巻第8・9号）
- 1954年 「恐慌の資本制的性格といわゆる „Der letzte Grund“ について」『三田学会雑誌』第47巻第8号
- 1955年 「史的唯物論における「生産力」概念の分析視角について」『経済評論』第4巻（通巻10巻）第9号
- 1956年 「「封建的社会構成体の基本的経済法則」に関する覚え書——土地所有の性格規定のための序説——」『三田学会雑誌』第49巻第6号
「世界史的発展法則の「再検討」」（共同）『社会経済史学』第22巻第1号
- 1957年 「昭和30年度農村動態調査結果中間報告（第1部水田単作地帯）」農林省統計調査部 農林統計課（昭和32年5月）
「日本農業問題と農民層の階層区分」『三田学会雑誌』第50巻第8号
「アメリカ合衆国における農業問題」『三田学会雑誌』第50巻第12号
- 1958年 「いわゆる「19世紀末農業恐慌」の性格について」『経済学年報』第1集
「J.L. シュミットの恐慌理論」『三田学会雑誌』第51巻第6号
「資本主義的拡大再生産の歴史的考察」『三田学会雑誌』第51巻第7号
「農家の兼業化」村落研究会編『戦後農村の変貌』（時潮社）
- 1959年 「J.L. メンデルソンの農業恐慌理論」『三田学会雑誌』第52巻第2号
「農業における調整的生産価格の「限界原理」と「平均原理」」『三田学会雑誌』第52巻第4号
「農民層分解論」『早稲田大学新聞』第780号（復刊340号）
「農業経済論——日本資本主義における小農論の展開——」（共同）慶應義塾創立100年記念・慶應義塾大学経済学部編『日本における経済学の百年』（日本評論社）下巻所収
- 1960年 「農業恐慌と独占資本主義の確立」『三田学会雑誌』第53巻第4号
「農家経済の再生産構造と農民層の分解」『三田学会雑誌』第53巻第7号
- 1961年 「第1次大戦後の農業恐慌の性格(上)(下)」『三田学会雑誌』第54巻第5号，第6号
「戦後日本資本主義の再生産構造における農業の地位」『土地制度史学』第12号
- 1962年 「日本農業構造の問題点——再生産-蓄積構造の視角から」『経済セミナー』No. 65

- 「農業基本法の経済学的性格」『三色旗』No. 168
- 「1930年代の農業恐慌の性格」『経済学年報』第5集
- 1963年 「独占資本主義段階の農業問題」宇佐美誠次郎・宇高基輔・島恭彦編『マルクス経済学講座』（有斐閣）第2巻，所収
- 「農業恐慌と農業危機」土地制度史学会編『農業危機の現段階的性格』（御茶の水書房）所収
- 「農業構造改善事業と農地問題」『農村と都市をむすぶ』No. 145
- “Position of Agriculture in Postwar Japanese Capitalism’s Reproduction Structure”, *Keio Economic Studies*, Vol. 1.
- 1964年 「“新産業都市”と農業問題」『三色旗』No. 191
- 「独占価格論」遊部久蔵ほか編『資本論講座』（青木書店）第4巻所収
- 「日本農業の現実と今後のあり方について——「農地管理事業団」設立構想にちなんで——」『三田評論』第633号
- 1965年 「道遠い自立経営農家育成」『エコノミスト』第43巻第5号
- 「地代論」杉本俊朗編『マルクス経済学入門』（有斐閣）所収
- 「農業恐慌」『経済学辞典』（岩波書店）所収
- 1966年 「国家独占資本主義と農業問題」宇佐美誠次郎ほか編，マルクス経済学体系Ⅲ『帝国主義論』（有斐閣）所収
- 1967年 「日本経済からみた農業の諸問題」『農村と都市をむすぶ』No. 192
- 「食糧増産を妨げる農政と農業構造」近藤康男編『食糧自給』（御茶の水書房）所収
- 「農業と資本主義の発達」農政調査委員会農業百科事典編纂室編『体系農業百科事典』第VI巻，農業社会経済篇所収
- 「農民層分解」同上 所収
- 「耕地規模拡大の条件とその限界」『農林統計調査』第17巻第12号
- 1968年 「日本資本主義と農業構造」『三田学会雑誌』第61巻第1号
- 「兼業滞留の現代的意義」大谷省三編『農家の兼業・出稼・離農に関する総合的研究』（東京農工大学農学部農経教室）所収
- 「日本資本主義と食糧管理制度」『農村と都市をむすぶ』No. 204
- 「食管制度改廃論」『農業と経済』第34巻第6号
- 「ドル危機と日本経済——ゴールド・ラッシュの意味するもの——」『三色旗』No. 243, No. 244
- 「戦後日本資本主義と農業構造」『土地制度史学』第40号
- 「食管制度改革の方途」『エコノミスト』第46巻第33号
- 「食管制度の欠陥」論批判『輸入食糧協議会報』第241号
- 1969年 「農林予算の性格と日本農業のゆくえ」『農業協同組合』第15巻第3号
- 「経済学における村落研究」村落社会研究会編『村落社会研究』（槇書房）第5集
- 1970年 「「独占段階」における価値法則と物価」『経済学年報』第13集
- 「農地法の改正に関する農地問題」『農業・農民』第3巻第4号
- 「現代日本資本主義と農業構造」『農村と都市をむすぶ』No. 228
- 「米価据え置きと今後の日本農業」『地上』第24巻第8号
- 「農業恐慌と農産物過剰」『日本農業年報』（御茶の水書房）第19集
- 「農業の資本主義化」農政調査委員会編『農業経済経営事典』（日本評論社）所収
- 1971年 「米過剰対策の今後のあり方」『農業と経済』第37巻第1号
- 「日本資本主義と農業再編成」『農業協同組合』第17巻第1号
- 「日本経済の動向と農業」『技術と普及』第8巻第6号
- 「円・ドル問題」の本質と日本農業『農業・農民』第4巻12号

- 1972年 「国家独占資本主義論」『経済セミナー』臨時増刊号（4月）
「外貨200億ドル時代の日本農業」『エコノミスト』臨時増刊号（創刊50年記念）
「農政の変遷と農家経済及び農業経営」『農民運動資料』（全日農）第13巻第4号
「地価の騰貴と農地問題」『農業と経済』第38巻第7号
「農地貸借推進特別調査報告」全国農地保有合理化協会
「「高度成長」下の農政と農業構造」『土地制度史学』第57号
- 1973年 「現段階の農業生産と農民問題」島恭彦ほか編『新マルクス経済学講座』（有斐閣）第4巻所収
「農業集落農地動態調査」（岡山県邑久町）『土地と農業』（全国農地保有合理化協会）No. 2
「農産物価格支持制度と食管制度」食管制度を守る全国連絡会議『最近の食糧情勢と食管制度』所収
「現代資本主義の基本矛盾」日本科学者会議『現代の科学論』（勁草書房）Ⅱ所収
「現代資本主義下の農民層分解」『農業協同組合』第19巻第7号
「食糧危機と再生産構造」『世界政経』第2巻第9号
「農業再建の途をさぐる」『農業・農民』第6巻9号
「農業経営と規模拡大」『畑地農業』（畑地農業振興会）No. 182
- 1974年 「独占価格と物価——現代資本主義下の利潤分配替えのメカニズム——」『三田学会雑誌』第67巻第6号
「物価騰貴と地価騰貴」『三色旗』No. 318
「農業・土地問題の現段階と経済学の体系」『農業経済研究』第46巻第2号
「「新価格体系」下の農産物価格と農業構造」『経済』No. 126
「景気停滞の本質と今後の農家経済」『技術と普及』第11巻第13号
- 1975年 「農業恐慌論」日本経済学会連合会編『経済学の動向』（東洋経済新報社）中巻所収
「農民運動」同上所収
「産業構造変化の諸画期と農業」河野健二編『産業構造の変革』（日本評論社）所収
「いまの不況をどうみるか」『現代農業』第54巻第7号
「第7回農林インター総会とソヴェート農業管見」『農村と都市をむすぶ』No. 292
「農業集落農地動態調査」（香川県琴平町）『土地と農業』No. 6
「「総合食糧政策の展開」とその問題点」『農業・農民』第8巻11号
- 1976年 「革新県政下の農業と農政および農民組織」『農村と都市をむすぶ』No. 296
「日本農業をめぐる諸情勢」『75年度幹部講習会講義録』（全農林労働組合）所収
「米価訴訟鑑定書」（東京地裁へ提出）『農民運動資料』第18巻第10号掲載
「農民参加の農業環境整備はどうあるべきか」『農業と経済』第42巻第7号（臨時増刊）
「複合経営を支える」『農村と都市をむすぶ』No. 302
「解説」栗原百寿著作集Ⅲ『農業危機と農業恐慌』校倉書房 1976年9月20日
「資本主義の政治経済機構と農業・農民」『農業・農民』第9巻10号
「複合経営と農業協同組合」『三田学会雑誌』第69巻第7号
- 1977年 「戦後日本資本主義と農業・農政」『月刊社会党』No. 242
「51年度農業白書を読んで」『農村と都市をむすぶ』No. 312
「80年代構造政策へ提言する」『農業と経済』第43第7号（臨時増刊）
「鑑定人として米価訴訟の証言台に立って」『農民運動資料』第18巻第9号
「昭和45年産米生産者米価決定当時米が過剰であったか否か」（鑑定証言）『農民運動資料』第18巻第9号
「食管法の下における米穀の政府買入価格および売渡価格は、価格形成上、相互に関係あるか否か」（鑑定証言）『農民運動資料』第18巻第10号

- 「日本農業の現状と食糧自給の課題」『農業・農民』第10巻11号
 「生産費・所得補償」方式と農産物価格政策」『農村と都市をむすぶ』No. 319
- 1978年 「農政の現状と農産物価格問題」『月刊社会党』No. 260
 「国家独占資本主義論」経済セミナー増刊『マルクス経済学のすべて』第Ⅲ部
 「農政の現状と農産物価格問題」『農業・農民』第11巻6号
- 1979年 「社会党の農業政策実現の条件」『農業・農民』第12巻2号
 「54年度農林水産予算の特徴と性格」『農村と都市をむすぶ』No. 334
 「80年代日本農業への提言」『現代の農業』（NHKテレビ）54年版
 「農業恐慌」『経済学辞典』（岩波書店）第2版
 「農産物価格と国際分業論」『農業・農民』第12巻7号
 「1980年代農政の展望」『農業・農民』第12巻10号
 「日本農業の現状と課題」『農業・農民』第12巻11号
 「「農業大不況」と近代的土地所有関係の変化」（学会報告）西洋経済史研究会大会（11.18）青山学院大学
- 1980年 「食管制度と農産物の価格政策」『農業・農民』第13巻3号
 「解題・戸田慎太郎『日本農業論』」〔昭和前期農政経済名著集5〕農山漁村文化協会，1980年7月10日；阪本楠彦編『農政経済の名著』昭和前期編上（農山漁村文化協会）に再録（1982年9月）
- 1982年 “Charakteristik der Landwirtschaft und der Agrarpolitik in der Bundesrepublik Deutschland —Im Vergleich mit der Japanischen—” *Keio Economic Studies*, Vol. 18, No. 2. 1982.
 「欧州共同体と西ドイツの農業」『農業・農民』第15巻9号
 「食糧安保論とその批判」『農村と都市をむすぶ』No. 377
- 1983年 「西ドイツ農業の基本動向と階層分解」『経済』No. 225
 「「複合経営理念」とその実践」『農村と都市をむすぶ』No. 381
 「西ドイツ紀行」『農村と都市をむすぶ』No. 385, 386, 388, 389, 391, 394, 396, 403, 405, 406, 410, 412
 「日本資本主義の構造的危機と農産物市場問題」美土路達雄監修『現代農産物市場論』あゆみ出版，1983年7月20日，所収
 「マルクス経済学の現代的意義」『三田学会雑誌』第76巻第3号
 「日本農業の現状と構造問題」『農業・農民』第16巻10号
- 1984年 「転作先進地・郡家町の農業と農事組合法人・いなば新水園」『農村と都市をむすぶ』No. 393
 「農工商連合公司」『農業・農民』第17巻4号
 「生産責任制における若干の問題点」同上所収
 「日米農産物摩擦」日本私立大学連盟『大学時報』176号
 「差額地代Ⅱをめぐる論争」久留島陽三ほか編資本論体系7『地代・収入』（有斐閣）所収
 「生産者米価の算定に関する米審報告について」『農村と都市をむすぶ』No. 399
 「見直すべき米価政策」『農業・農民』第17巻10号
 「里見農業の「複合経営」化と「高畑」農業」『農村と都市をむすぶ』No. 402
- 1985年 「農業・食糧問題の統一的解決を」『月刊社会党』No. 345
 「米価問題と米の流通管理」『農業・農民』第18巻6号
- 1986年 「社会主義国の「新」動向をどう理解するか？」『農村と都市をむすぶ』No. 416
 「農林予算（61年度）削減の現実と背景」『農業と経済』第52巻第4号
 「円高と産業構造および農業農民」『農業・農民』第19巻7号
 「農産物価格政策をめぐる」食糧問題国民会議編『食の危機克服の道』（国民の食糧白書'86）並紀書房，1986年7月25日所収

- 「日米「経済摩擦」の背景と内実」『農村と都市をむすぶ』No. 422
- 「集落営農組合の成立とその収支決算書」『農村と都市をむすぶ』No. 424
- 1987年 「産業構造調整と日本の農業・農民」『農業問題』（農業問題研究会議）No. 234
- 「農産物価格政策と今後の課題」『農業・農民』第20巻6号
- 「深刻さつもの日本の農業」『経済』No. 280
- 「地代水準と水田受委託」『農村と都市をむすぶ』No. 434
- 「農政審の報告を斬る」食糧問題国民会議『コメ政策の転機』（国民の食糧白書'87）亜紀書房，1987年8月25日，所収
- 「農産物価格論の「破綻」論によせて」『農村研究』（東京農大）第65号
- 「米国の貿易赤字拡大と包括通商法案」『農村と都市をむすぶ』No. 436
- 「日本の米問題——生産・流通・消費の実態と構造——」農業問題研究会議『いま，米問題をどう考えるか—国内，国際ふたつの視点から—』時潮社，1987年12月30日，所収
- 1988年 「战后日本的三大改革と高速経済増長」上海社会科学院世界经济研究所，日本慶應義塾大学経済学部合編『中日経済改革学術討論会（1987年3月，上海）論文集』1988年4月上海，所収
- 「農産物価格政策と地域農政」『農業・農民』第21巻6号
- 「生産者米価算定「新方式」の問題点」『農林新聞』（全農林）第1589号
- 「食管制度改革の一視点」『全国農業新聞』（農業会議所）第1675号
- 「新しい「生産者米価算定」方式」『農村と都市をむすぶ』No. 446
- 「農業の地域複合化システムと共同経営」『農村と都市をむすぶ』No. 447
- 「消費者と連帯した地域農政の推進を」『地方政治』第344号
- 「地域重視の食糧管理へ」食糧問題国民会議『「国際化」の波に洗われる食糧と地域』（国民の食糧白書'88）亜紀書房，1988年10月25日，所収
- 1989年 「東ヨーロッパ農業視察代表団報告」『農業・食糧』第22巻3，4，5，6，7，9号
- 「経済学からみた有機農業の問題点とその展望」食糧問題国民会議編『有機農業——新しい「食と農」の運動——』（国民の食糧白書'89）亜紀書房，1989年10月25日，所収
- 「「コメ」の地域食管構想」名著刊行会『コシヒカリ伝説・雪国の正倉院とコメ文明』1989年11月6日，所収
- 「暗黒の木曜日」日本農業年鑑刊行会編・日本農業年鑑'90別冊付録，所収
- 「農村不況に臨時対策」同上所収
- 「水田農業確立後期対策」『農林新聞』第1647号
- 1990年 「後期対策とその性格」『農村と都市をむすぶ』No. 464
- 「1990年度農林水産予算の構成と特質」『農村と都市をむすぶ』No. 465
- 「ガット事務局及び各主要国ウルグアイ・ラウンド交渉代表部への要請記」『農村と都市をむすぶ』No. 470
- 「ガット「ウルグアイ・ラウンド」におけるコメ問題」『農業・食糧』第23巻8号
- 1991年 「経済発展と環境破壊」食糧問題国民会議編『環境破壊と農業の復権』（国民の食糧白書'90）亜紀書房，1991年3月5日，所収
- 「食糧・農業に対する国民の意識——総理府調査から——」『農業・食糧』第24巻5号
- 「有機農業の推進力と経営的課題」『農村と都市をむすぶ』No. 482
- 「新農政の動向とその問題点」『国会と郷土を結ぶ』第718号
- 「農林省・新農政プランは誰のためにあるか」『酪農事情』Vol. 51-10
- 「農基法農政30年を検証する」『農業・食糧』第24巻10号
- 「基本法農政30年と新農政ビジョン（講演）慶應義塾経済学会（12.19）
- 1992年 「農政の見直しとそのあるべき基本方向」『農村と都市をむすぶ』No. 486

「クリアすべき課題残した新農業政策」『エコノミスト』6月16日号

「経団連「21世紀に向けての農業政策のあり方」批判」『農村と都市をむすぶ』No. 429

「新農政検討本部報告とその問題点」『農業・食糧』第25巻7号

「土地利用計画と規模拡大」『農村と都市をむすぶ』No. 497

1993年 「世界経済の新しい潮流」『農業・食糧』第26巻1号